やまのい和則活動記(日)

衆議院厚生労働委員会理事として

「年金・介護・医療・雇用」に全力投球

● 年金改革 ●

一日も早く、年金の抜本改革を！

昨年の参議院選挙の民意は、「年金改革をやり直せ」ということでした。しかし、秋の臨時国会でも、与党は、年金の抜本改革案を提示しないばかりか、民主党の年金改革法案の審議を拒否しました。

さらに、小泉首相は、口では「年金の与野党協議をしよう」と言いながら、郵政改革で頭が一杯で、2年間の任期中に年金改革をする気は全くありません。これ以上、年金改革の先送りは許せません！

民主党の年金改革法案の提出者として答弁に立つ。また委員会では社会保険庁の無駄遣いを追及しました。

TBSテレビ「みのもんたのサタデーずばっと」で、山井の国会質問が紹介されました。

● 介護保険と障害者福祉 ●

老いても、障害があっても住み慣れた地域で暮らし、働ける「助け合いの社会」に！

今年の国会では、介護保険5年目の見直し法案と、障害者福祉サービス法案が審議されます。介護保険は、私のライフワークです。民主党の介護保険政策の責任者として、先頭に立って国会で、論戦を挑みます。

また、私と衆議院大衆議院議員（京都3区）が中心になって、「高齢者虐待防止法」も策定中です。

障害者福祉は高齢者福祉よりも10年遅れています。「高齢者介護は自分の問題だが、障害者福祉は他人事」という意識もあります。老いても障害があっても地域で暮らし働ける、助け合いの社会を創るために、介護保険の被保険者・受給者の拡大にも取り組みます。

民主党の「介護保険ワーキングチーム」座長として28回の会議を主催し、介護保険の見直し提言をまとめました。

ドイツに介護保険の視察に行き、厚生労働省の担当者や介護現場スタッフと議論をしました。日本のほうが進んでいると感じました。

● 児童虐待の防止 ●

幼い命を守るために！
～コンビニを虐待児の駆け込み寺に～

国会では何度も、児童虐待防止について質問、「コンビニを虐待児の駆け込み寺に」「虐待児の施設退所後の就労支援を！」などと要望し、厚生労働大臣から前向きな答弁を得ました。

また、岸和田市の児童虐待事件、小山市の児童殺人事件の現場をはじめ、各地の児童相談所、児童養護施設、少年院、自立支援施設、ひきこもりの若者のグループホーム、不登校の子どもたちのフリースクールなどを回りました。自ら声をあげられない子どもたちの「声なき声」を代弁します。

虐待を受けた子どもたちが暮らすグループホームを訪問し、子どもたちと夕食を共にしました。

児童殺人事件がおこった小山市を訪問し、聞き取り調査。

● 自閉症児や学習障害児の支援 ●

民主党の法案責任者として「発達障害者支援法」を臨時国会で成立させました。自閉症や学習障害などの発達障害児は、子どもの約6％です。対策が大幅に立ち遅れ、偏見や誤解に苦しめられていましたが、この法律をきっかけに自閉症や学習障害の子どもたちやご家族が笑顔で暮らせる社会づくりを目指します。

洛南タイムス（2004年 12月 1日）

議員立法「発達障害者支援法」の提出者として答弁

● 救急医療の向上 ●

救急救命士の業務が拡大
～救える命が増えます～

過去数年取り組んでいる救急救命士の業務拡大についても引き続き国会質問。「すべての救命士が5年以内に気管内挿管（気道確保の方法）ができるようにする」という画期的な答弁を尾辻厚生労働大臣から得ました。これによって、毎年数百人の命が救われると期待されます。

洛南タイムス（2004年 11月 6日）

● 国民皆保険制度の堅持 ●

混合診療には反対

私は、世界各国で社会保障の調査をしましたが、貧富の差なく医療にかかれる日本の国民皆保険制度は世界一です。長い待ち時間や三分診療、情報開示、医療事故など課題もありますが、国際的に日本の医療は高い水準です。一方、アメリカでは裕福な人は非常に良い医療を受けられますが、三割の人が医療保険に加入できず、貧しい人は十分な医療が受けられません。

小泉首相は混合診療を推進していますが、裕福な人しか高度な医療が受けられず、民間の医療保険に入らないと医療の安心が得られないアメリカのような状況になりかねません。私は、皆保険制度をできる限り維持すべきだと考えます。海外で実績ある治療等は、速やかに保険適用とすることを前提に、安全性が確認できるまで特定療養費制度の柔軟な運用によって対応すべきです。

● ホームレスの人々の就労を支援 ●

寒い冬に路上で凍死する人がないように

私は議員立法で「ホームレス自立支援法」を成立させたメンバーの一人ですが、全国2万5000人と推定されるホームレスの人々が自立し、働けるように、支援しています。

ホームレス自立支援プロジェクトチームのメンバーで新宿の戸山公園を訪問
（100名余りがテント生活をしています）

やまのい和則活動記(月)

住みよい京都南部のために
地元の声を国政へ！

農林水産省の茶業担当者を呼んで、地元の茶業関係者と共に国会の議員会館で茶業振興について議論。要望を伝えました。山井は、茶業振興議員連盟の一員として、宇治茶の振興に取り組んでいます。

国道307号裏白バイパスの開通式。山田知事、岩井国土交通副大臣などと共にテープカット。京都南部の交通渋滞の解消、交通事故の防止に頑張ります！

国土交通省の道路局長を訪問し、玉置一弥衆議院議員と共に、京都南部の道路整備を要望しました。

［左］民主党の議員団で、京都北部の台風23号水害、新潟県中越地震への義援金を呼びかけました。多くの方々（子どもたちも）がカンパして下さり、ある議員は、「世の中捨てたもんやない！」と涙ぐんでいました。私も感激！　［右］城南新報（2004年 1月 1日）

京都 6区
宇治市
久御山町
八幡市
城陽市
宇治田原町
京田辺市
井手町
和束町
山城町
精華町
加茂町
笠置町
南山城村
木津町

宇治小学校の児童傷害事件について、文部科学省担当者と再発防止について議論。河村建夫文部科学大臣（当時）にも直接、防犯マニュアルの作り直しを要望しました。

児童養護施設・乳児院「京都大和（だいわ）の家」（精華町）を、松井孝治参議院議員と共に訪問しました。

［左］NPO「ちよネット（痴呆予防ネット）」の皆さんと「木の津まつり」（木津町）にて。痴呆予防の推進は、国会でも尾辻厚生労働大臣に強く要望しています。
［右］洛南タイムス（2004年 11月 23日）

地元中学の修学旅行生を国会案内。「国会より、ディズニーランドが楽しみ」という中学生の言葉に、「そりゃそうやね」とうなずきながらも、内心ガックリ。「暑いので教室にクーラーをつけてほしい」という陳情も受けました。

秋の週末は、地域のお祭りやバザーに出かけ、地域の方々の声をお聞きしました。だから、週末の昼食は、屋台のうどん、焼きそば、かやくご飯、豚汁などが多かったです。写真は、「恭仁京～秋桜（コスモス）まつり」（加茂町）のひとこま。

［久御山町制施行 50周年記念式典］
商工業、農業、福祉とバランスのとれた発展が継続するよう支援します。

［笠置町制施行 70周年記念式典］
国道163号などの整備、関西本線の増発なども国会質問で国土交通大臣に要望しています。

［和束町制施行 50周年記念式典］
和束の茶業振興、福祉の充実、交通網の整備に取り組みます。